



結びつける大きな材料になっています。

各学校が、学校図書館を活用した授業に取り組み、児童、生徒の学習力を高める学びとしての読書活動と、心を育む自由な読書活動を推進しています。

◆読書アドバイザー

2人の読書アドバイザーを置きました。豊かな経験を持つ有識者から専門的な指導を受けました。

図書館では、アドバイザーを講師に定期的に司書研修を実施しました。ふるさと学習を支援する地域資料の収集整理やリスト作成などの指導を受けました。学校では、アドバイザーを



▲ 読書アドバイザーによる国際理解学習 (大山小)

迎えて本の分類や並べ方の見直しや調べ学習についての協議などを行いました。



▲ 読書アドバイザーによる司書研修 (図書館)

◆大山町子どもの読書活動推進委員会

「大山町子どもの読書活動推進計画」に基づいて、子どもの読書活動を計画的、かつスムーズに進めていくための組織づくりをしました。

委員には、子どもの読書に関わる機関の関係者や保護者、PTAなどから委員を選出していきます。さまざまな角度から取り組みについて検討を行い、大山町全体の読書推進を図ります。

◆生涯学習大会兼本のあるまちづくり大会

教育や図書館の関係者だけでなく、町ぐるみで、子どもの読書を考え、地域の方々にも関心を高めていただくよう関係機関が協力して「読書」をテーマにした大会を2回開きました。



▲ 児童作家 杉山亮氏の物語ライブ

◆◆

この2年間の実践研究事業での取り組みは、さまざまな形で子どもたちが本に出会い、読み調べ、学ぶ機会を生み出してきました。以前からの取り組みに厚みが増し、さらに広げることができました。

家庭での読み聞かせの機会が増えたこと、各機関の読書環境がさらに向上したこと、教育関係者や保護者の意識とスキルが高まったことなど、子どもたちの「読む・調べる」力を伸ばすために大きな力を果たしています。

◆◆

1冊の本が子どもの心に大きな足跡を残したり、課題の解決において役に立ったりすることを私たちは常に心に留めていることが大切です。

豊かな読書体験や読書教育は、子どもたちの心の中にゆとりと確実に蓄積され、子どもたちの生きていく力を育みます。

この事業での取り組みの成果を継続し、関係機関がさらに連携協力を深め、今後に活かしていきたいと思えます。

◆この記事についての問い合わせ先 教育委員会 ☎0859・54・5211